

ワーク・講義

プログラム番号 2902B

事例で考える教職課程における 多様な履修相談対応



NEW!

■講師

小野 勝士（龍谷大学 世界仏教文化研究センター事務局）

関西学院大学大学院法学研究科民刑事法学専攻博士課程前期課程修了。修士（法学）。平成13年度から龍谷大学に勤務し、教学部、経理課、文学部教務課を経験し、平成28年から現職。大学教務実践研究会代表。関連する著書に『教職課程事務入門【1】』『教職課程事務入門【2】』（ジダイ社）がある。

■プログラム概要

ある日電話で「昭和63年に卒業したのですが、これから教員免許状を取得したいのですが、どのようにすればよいのでしょうか？」とかかかってきたときどのように対応しますか？

このような卒業生等からの相談については体系化された対応マニュアル等がなく、個別対応になる場合がほとんどだと思われます。

本プログラムでは、学生配付の学修の手引きでは対応できない事案について掘り所となる法令を紹介します。そして、学んだ知識の業務への活用方法について、ワークを通じて体験することで教職課程の窓口対応力の向上を目指します。

※大学規模・免許状の種類にかかわらず、すべての大学・短大に共通する内容です。

1. 自己紹介（講師、グループ内のメンバー）
2. 事例（ワーク・講義）
3. 参考書籍・セミナーの紹介（講義）

■主な受講対象

教職課程の履修相談を担当している教職員。

■本プログラムの到達目標

1. 法令を理解したうえで正確に不足単位の説明をすることができる。
2. 履修相談にあたって必要な情報が掲載されているウェブサイト等を提示することができる。
3. 想像力を働かせて履修相談に対応する姿勢を身につけることができる。

■日時・場所

日時：令和元年8月29日（木）13：00～15：00

場所：愛媛大学城北キャンパス